

主要プログラム

理事長講演 11月26日(金) 9:05～9:35 A会場(1階 テルサホール)

座長：副島 秀久(済生会熊本病院 医療情報調査分析研究所)

「時の流れに身をまかせ」と“*As Time Goes By*”

山中 英治(若草第一病院 院長)

会長講演 11月26日(金) 8:20～8:50 A会場(1階 テルサホール)

座長：伊藤 淳二(青森県立中央病院)

時代に即するみんなのクリニカルパス

石井 政次(済生会山形済生病院 院長)

招待講演1 11月26日(金) 9:50～10:40 A会場(1階 テルサホール)

座長：石井 政次(済生会山形済生病院)

芸術はこころの病院

中山 ダイスケ(東北芸術工科大学 グラフィックデザイン科 学長・教授)

招待講演2 11月26日(金) 10:55～11:45 A会場(1階 テルサホール)

座長：三原 美雪(庄内南部地域連携パス協議会)

鶴岡サイエンスパークが創る、未来の健康社会

富田 勝(慶應義塾大学先端生命科学研究所 所長)

特別講演1 11月26日(金) 14:10～15:20 A会場(1階 テルサホール)

座長：三原 一郎(山形県鶴岡地区医師会)

老朽、弱小、貧乏水族館の逆転劇

村上 龍男(鶴岡市加茂水族館 総務 シニアアドバイザー)

特別講演2 11月27日(土) 9:00～10:00 B会場(3階 アプローチA)

座長：阪西 通夫(済生会山形済生病院)

「食は命なり」と映画「よみがえりのレシピ」(農林水産賞受賞)

岡田 まさえ(協同組合山形給食センター 給食経営管理部)

特別教育講演 11月27日(土) 11:15～12:15 A会場(1階 テルサホール)

座長：今田 光一(若草第一病院)

教育とハラスメントの分岐点

松崎 一葉(筑波大学 医学医療系 教授)

肺炎パンデミック増加する肺炎診療にクリニカルパスを活用しようー

S1-1 肺炎診療とクリニカルパスの使いどころ

岩手県立胆沢病院 鈴木 俊郎

S1-2 急性期病院における肺炎クリニカルパスの活用法

トヨタ記念病院 杉野 安輝

S1-3 高齢者看護の視点から作成した誤嚥性肺炎パス

富山赤十字病院 廣幡 千春

S1-4 誤嚥性肺炎クリニカルパス導入の効果ー理学療法士の視点からー

春日井市民病院 山下 裕

S1-5 高齢者肺炎地域連携クリニカルパスの有用性

聖隷浜松病院 河野 雅人

多職種チーム、地域連携で取り組む心不全診療とクリニカルパス

S2-1 多職種アプローチを基本とした心不全パスの運用について

山形県立新庄病院 飯塚 敦士

S2-2 院内心不全多職種チーム活動から地域内シームレス診療へ

前橋赤十字病院 丹下 正一

S2-3 山形県村山地方における地域連携心臓リハビリテーション連携

山形大学医学部附属病院 沓澤 大輔

S2-4 ネットワーク型地域連携パスを用いた心不全病診連携

長崎大学病院 黒部 昌也

S2-5 ICTを用いた診療看護師によるへき地在宅支援の取組み

東北医科薬科大学 住友 和弘

オーガナイザー/座長: 若月 俊郎(松江市立病院)

オーガナイザー/座長: 川口 清(済生会山形済生病院)

癌の地域連携パス—なぜ軌道にのらないのか—

- S3-1** 当院における「がんの地域連携パス」導入の取り組みと課題
済生会熊本病院 坂口 清美
- S3-2** がん地域連携パスの実績と課題—パス導入後11年間を振り返って—
兵庫県立がんセンター 北村 嘉隆
- S3-3** なぜ軌道にのらないのか—がん連携の調整機能を体験して—
名古屋大学医学部附属病院 船田 千秋
- S3-4** 愛知県がん地域連携パスの現状と課題
藤田医科大学 稲葉 一樹
- S3-5** 岐阜県におけるがん地域連携パス—運用8年目での改定を終えて—
岐阜市民病院 山田 誠
- S3-6** 人生100年時代のがんパスを考える
庄内南部地域連携パス協議会 三原 美雪

オーガナイザー/座長: 小林 美亜(千葉大学医学部附属病院)

オーガナイザー/座長: 田中 和美(済生会山形済生病院)

チーム医療を推進するための記録を考える—多職種による看護記録の活用—

- S4-1** 多職種との情報共有を目指したパスにおける看護記録の在り方
福井総合クリニック 吹矢三恵子
- S4-2** リハビリからみた看護記録
済生会熊本病院 日高 淳
- S4-3** 薬剤師業務からみた看護記録
八尾市立病院 小枝 伸行
- S4-4** NSTの観点から看護記録を考える—院内から地域一体型NSTへ—
鶴巻温泉病院 高崎 美幸
- S4-5** 社会福祉士からみた看護記録の有用性について
日本海総合病院 本間 真臣

地域包括ケアシステムにおける地域連携パス—多職種・多施設での共有—

- S5-1 地域包括ケアの変容と地域連携パスが目指すべき深化の方向性
(株)ストローハット 鈴木 哲
- S5-2 地域包括ケアにおけるICTの活用
山形県鶴岡地区医師会 三原 一郎
- S5-3 地域包括ケアシステム かかりつけ医の立場から
北美原クリニック 岡田 晋吾
- S5-4 地域包括ケアシステムにおける福祉施設の役割
済生会特別養護老人ホーム・ケアハウスめずら荘 森田 亜希
- S5-5 地域包括ケアシステムにおける住民主体のサービス
慶應義塾大学SFC研究所 土井原奈津江

BOM(Basic Outcome Master)を広く使っていただくために

- S6-1 最新版BOM3.0を導入されていない病院のBOMを簡単に導入するコツ
岩手県立磐井病院 佐藤耕一郎
- S6-2 BOM導入への取り組み—看護師の立場から—
松戸整形外科病院 山田 邦代
- S6-3 回復期を担うリハビリ職種におけるBOM導入の利点と課題
平内中央病院 米田 良平
- S6-4 BOM導入時の現場での問題点
福井県済生会病院 黒川 礼子
- S6-5 BOMの目的とBOMを使ったパスの将来展望
あきた病院 町田 二郎

認知症のある人が、本当に地域で生き生きと暮らしていくためにできることは —クリニカルパスの視点から—

- S7-1** 認知症のある人が安心して暮らせるために求められること
(基調講演) 北里大学医学部 大石 智
- S7-2** 認知症のある人を支援するために共有すべき課題 北里大学医学部 姜 善貴
- S7-3** 認知症高齢者の在宅支援パス構築に向けて—本人の思いをつなぐ— 鶴岡市立荘内病院 富樫千代美
- S7-4** 認知症地域連携パスに始まる荒尾市の地域包括ケアシステム 西原クリニック 中村 光成
- S7-5** いまだけではなく2040年の日本を考えた地域共生社会の準備 (株)あおいけあ 加藤 忠相

パスと教育—ありがちなパスの弱点を克服しよう!

- S8-1** パスの弱点克服のための教育的取り組み 函館五稜郭病院 浜 良輔
- S8-2** 多くの職員へパス運用を導く指導のあり方 上尾中央総合病院 藤川 千春
- S8-3** 医師事務作業補助者による院内パス活動 福井総合病院 渡邊まどか
- S8-4** パス活動に栄養士が深く関わる意義—精神科急性期病棟の取組から— 青梅成木台病院 小野里 涉
- S8-5** 標準化と個別化の狭間で—電子パスがもたらす新しいパスのかたち— 済生会熊本病院 加治 正知

オーガナイザー/座長：今田 光一(若草第一病院)

オーガナイザー/座長：斎藤利香子(山形県立新庄病院)

クリニカルパス業務と医療のタスクシェア/シフトー明るい職場の働き方ー

S9-1 チーム医療はクリニカルパスで普及したー仕事は専門家に任せようー

若草第一病院 山中 英治

S9-2 看護職から見た医療業務のタスクシェア/シフトと問題点

東京都済生会中央病院 樋口 幸子

S9-3 明るい職場を作る意識が「タスクシフトの鍵」となる

NPO法人日本医師事務作業補助研究会 矢口 智子

S9-4 クリニカルパス業務のタスクシェアに関するアンケート調査結果

山形県立新庄病院 斎藤利香子

オーガナイザー/座長：岡田 晋吾(北美原クリニック)

オーガナイザー/座長：宮崎 美子(戸田中央総合病院)

地域で活躍するメディカルスタッフー地域連携パス、退院支援、在宅医療ー

S10-1 薬薬連携における連携シートの活用

(株)アインファーマシーズ 金谷 法好

S10-2 在宅がん療養患者への関わりと在宅看取りにおけるチーム医療

ほし薬局 星 利佳

S10-3 たべるをあきらめないー食支援を通じた社会連携の取り組みー

(株)とよみ 小川 豊美

S10-4 ICTシステム『道南Medika』を活用した退院調整

函館五稜郭病院 木下 優子

オーガナイザー：長塚真紀子(山形県立中央病院)
 オーガナイザー/座長：松波 和寿(松波総合病院)
 コメンテーター：渡辺 優(野村ヘルスケア・サポート&アドバイザー (株))

病院経営を意識したパスの作成・運用・見直しー各専門職の目線でー

- PD1-1 病院経営を意識したクリニカルパスの見直し効果
 山形県立中央病院 鈴木 克典
- PD1-2 DPC入院期間2末日をベンチマークとしたパス設定日数の見直し
 東京医療センター 目黒 康平
- PD1-3 原価計算を用いたクリニカルパス利用例の収支分析による経営効果
 長崎大学病院 松本 武浩
- PD1-4 リハ部門における病院経営を意識したパス運用と取り組みについて
 厚生中央病院 秋山 茂雄
- PD1-5 病院経営を意識したパスの作成・運用・見直しー経営者の目線でー
 岩手県立磐井病院 佐藤耕一郎
- PD1-6 診療単価および機能評価係数を意識したパス改訂
 藤沢市民病院 小山 浩明
- PD1-7 クリニカルパス分析の効率的なフィードバックとモニタリング
 横浜市立大学附属市民総合医療センター 金井 和夫

オーガナイザー/座長：勝尾 信一(福井総合病院)
 座長：村上 廣野(水戸医療センター)

バリエアンスの失敗体験・成功体験

- PD2-1 治療内視鏡パスのバリエアンス分析 麻酔から覚醒しているについて
 大阪国際がんセンター 清田 麻里
- PD2-2 腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術パスのバリエアンス分析
 相模原協同病院 後沢 絢香
- PD2-3 腹腔鏡下胆嚢摘出術パスの見直し
 済生会山形済生病院 豊後あゆみ
- PD2-4 臍頭十二指腸切除術クリニカルパスのバリエアンス分析
 横浜市立大学附属病院 道山 貴司
- PD2-5 緊急虫垂切除術(当日手術)パスバリエアンス分析後の改訂
 高崎総合医療センター 坂田 美香
- PD2-6 チームに分かれて取り組んだ整形外科パスの見直し
 大阪南医療センター 山中真美子
- PD2-7 バリエアンス分析によるTHA術後の入院期間に関する術前因子の検討
 松戸整形外科病院 志田 真澄
- PD2-8 バリエアンスコード表改定で得た「成果」と「学び」
 済生会西条病院 烏谷 力

オーガナイザー/座長:伊藤 博紀(能代厚生医療センター)

オーガナイザー/座長:遠藤 武秀(済生会山形済生病院)

大腿骨頸部骨折地域連携パスにおける多職種連携—2次骨折予防に向けて—

PD3-1 地域連携パスから見る大腿骨近位部両側骨折症例の特徴

青森県立中央病院 原田 義史

PD3-2 現状報告と看護師としての関わりについて

済生会横浜市東部病院 林 綾野

PD3-3 大腿骨近位部骨折地域連携パスの現状と課題 病病から病診パスへ

鶴岡市立荘内病院 渡部 美穂

PD3-4 現状報告と薬剤師としての関わりについて

笹菊東明薬局 市橋 直子

PD3-5 大腿骨頸部骨折を含む二次骨折予防における臨床支援士の取り組み

富士整形外科病院 大芝 彩子

オーガナイザー/座長:菅原 早苗(鶴岡市立荘内病院)

座長:神谷 浩平(一社 MY wells 地域ケア工房)

これからの緩和ケアとクリニカルパス

PD4-1 緩和ケアとクリニカルパス—主観から客観、そして共感へ—

(一社) MY wells 地域ケア工房 神谷 浩平

PD4-2 在宅がん患者のQOL向上に向けた取り組み—つらさPATHの導入—

鶴岡市立荘内病院 上林沙希子

PD4-3 看取りのクリニカルパス導入時の多職種カンファレンスの効果

鶴巻温泉病院 工藤 葵

PD4-4 緩和ケア分野の地域連携パス推進に必要なこと

福井大学医学部附属病院 小林 美貴

教育セミナー 1 11月26日(金) 14:10~ 15:10

C会場(3階 アプローチB)

座長：小林美津子(相澤病院)

▶初~中級者向け

ES-1 やってみよう！バリエーション分析

村上 廣野(水戸医療センター)

教育セミナー 2 11月26日(金) 14:10~ 15:10

D会場(2階 リハーサル室)

座長：森崎 真美(済生会熊本病院)

▶初級者向け

ES-2 看護記録とパスー看護記録の目的を達成するために一

小林 美亜(千葉大学医学部附属病院)

教育セミナー 3 11月26日(金) 15:35~ 16:35

A会場(1階 テルサホール)

座長：今田 光一(若草第一病院)

▶中級者向け

ES-3 BOMを自在に使いこなすテクニック

中熊 英貴(済生会熊本病院)

教育セミナー 4 11月26日(金) 17:10~ 18:10

C会場(3階 アプローチB)

座長：岡本 泰岳(トヨタ記念病院)

▶初~中級者向け

ES-4 医療ケアの質改善

若月 俊郎(松江市立病院)

[Experience Report]

A functional learning health system in Japan: Experience with processes and information infrastructure toward continuous health improvement
Learn Health Sys 2020;e10252

済生会熊本病院 医療情報調査分析研究所 副島 秀久

論文の書き方セミナー 11月27日(土) 9:45~10:45

D会場(2階 リハーサル室)

座長：小林 美亜(千葉大学医学部附属病院)
高瀬 浩造(東京医科歯科大学大学院)

論文の受理と採択を目指すために

演者：日本クリニカルパス学会編集委員

論文発表

11月27日(土) 11:00~12:00

D会場(2階 リハーサル室)

座長：田中 良典(武蔵野赤十字病院)
小林 美亜(千葉大学医学部附属病院)

2020年度

1. 【原著】第21巻第2号

クリニカルパスを用いた大腸切除術後早期経口摂取開始の効果、患者満足度の前向き比較研究

盛岡市立病院 須藤 隆之

2. 【実践報告】第22巻第1号

小児食物経口負荷試験クリニカルパスの作成

福山市民病院 青木 有加

2021年度

3. 【研究報告】第22巻第3号

クリニカルパスにおけるリハビリテーション進捗のバリエーション分析で
心不全患者の予後不良因子を推定する

岡山市立市民病院 時岡 浩二

4. 【原著】第23巻第1号

大腿骨近位部骨折前の Barthel Index (BI) と認知症によるマトリックス分類
— BI 損失量分析による予後予測—

鶴岡地区医師会 三原 一郎

オーガナイザー：中熊 英貴(済生会熊本病院)
座長：羽藤 慎二(四国がんセンター)
座長：北村佳代子(九州大学病院)
コメンテーター：副島 秀久(済生会熊本病院
医療情報調査分析研究所)
コメンテーター：若田 好史(徳島大学病院)

ePathプロジェクトの報告と展望：看護師にもわかる情報の解釈とパスの改定
ー ePathプロジェクト実証施設での事例からー

- 特企1-1** パス活動から理解する標準用語とその活用ー黒船がやってきたー
NTT東日本関東病院兼DX推進部門 村木 泰子
- 特企1-2** ePath運用に関する教育活動による効果
独立行政法人国立病院機構四国がんセンター 片山 洋子
- 特企1-3** ePathデータを用いた統合解析によるパス改定
九州大学病院 荒木千恵子
- 特企1-4** パス解析結果に基づくケア計画業務改善
済生会熊本病院 高山 洋平
- 特企1-5** クリニカルパス患者における重症度、医療・看護必要度の可視化
NTT東日本関東病院 村岡 修子
- 特企1-6** ePath事業の意義と今後の展開
九州大学病院 中島 直樹

オーガナイザー/座長：杉野 安輝(トヨタ記念病院)
座長：岡本 泰岳(トヨタ記念病院)
コメンテーター：副島 秀久(済生会熊本病院
医療情報調査分析研究所)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)治療計画ー当院ではこうしているー

- 特企2-1** 非重症COVID-19治療クリニカルパスの導入および運用上の工夫
トヨタ記念病院 奥村 隼也
- 特企2-2** 民間救急病院薬剤師による中等症COVID-19肺炎パスの改訂
社会医療法人若弘会若草第一病院 加藤真由美
- 特企2-3** COVID-19軽症患者の診療と看護の標準化報告
国立国際医療研究センター病院 須永 直人
- 特企2-4** COVID重症患者治療のパス作成と運用の工夫
済生会熊本病院 管田 壘
- 特企2-5** 全診療科の診療参画を可能としたCOVID-19入院患者用パスの導入
東京医科大学病院 中村 造

時代が求めるシン病院DX

共催：日本ユーザーメイド医療IT研究会
第12回J-SUMMITS全国集会

学術セミナー

ランチョンセミナー 1-1 11月26日(金) 12:00~12:50

A会場(1階 テルサホール)

座長：伊藤 淳二(青森県立中央病院 特定診療部門長・整形外科統括部長)

閉経後骨粗鬆症に対する薬物治療—骨折の抑制と健康寿命の延伸をめざして—

酒井 昭典(産業医科大学医学部整形外科学 教授)

共催：帝人ヘルスケア株式会社

ランチョンセミナー 1-2 11月26日(金) 12:00~12:50

B会場(3階 アプローチA)

座長：神谷 浩平(一社 MY wells 地域ケア工房 代表)

チーム医療で実現する心不全の緩和ケア

大石 醒悟(兵庫県立姫路循環器病センター 循環器内科 医長)

共催：第一三共株式会社

ランチョンセミナー 1-3 11月26日(金) 12:00~12:50

C会場(3階 アプローチB)

座長：高窪 祐弥(山形大学医学部附属病院 リハビリテーション部 病院教授)

関節リウマチ治療におけるチーム医療について

伊藤 聡(新潟県立リウマチセンター 副院長)

共催：日本イーライリリー株式会社

バリエーション分析取組みと今後の期待

1. 山形県立中央病院におけるNECVを使用したパス改善の取組みについて
—理想と現実—

石山 侑弥(山形県立中央病院 医事相談課 診療情報管理士)

2. バリエーション分析活動と今後の期待

中熊 英貴(済生会熊本病院 医療情報調査分析研究所)

共催：日本電気株式会社

In-Process Clinical Intelligence (IPCI) コンセプトによる e-Path実装と永続化の可能性

鳥飼 幸太(群馬大学医学部附属病院 システム統合センター 副センター長 准教授)

共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社

ICTを活用した維持期における脳卒中地域連携パスの介護領域への展開

丸谷 宏(鶴岡市立荘内病院)

共催：株式会社ストローハット

急性期病院におけるSkill Mix型チーム医療

谷口 英喜(済生会横浜市東部病院 患者支援センター長)

共催：あゆみ製薬株式会社

RAのトータルマネジメントの実践

石川 肇(新潟県立リウマチセンター 院長)

共催：中外製薬株式会社

ランチョンセミナー 3-2 11月27日(土) 12:30~13:20

B会場(3階 アプローチA)

座長：井川 澄人(株式会社ソフトウェア・サービス 常勤顧問)

病院間でシェアする電子パスの時代

藤島慎一郎(製鉄記念八幡病院 循環器・高血圧内科 部長)

松本 崇志(株式会社ソフトウェア・サービス 第一システム部)

共催：株式会社ソフトウェア・サービス

ランチョンセミナー 3-3 11月27日(土) 12:30~13:20

C会場(3階 アプローチB)

座長：上野 義之(山形大学医学部 内科学第二講座 教授)

Aging Gut / 砂漠化する腸管

本郷 道夫(東北大学 名誉教授)

共催：ヴィアトリス製薬株式会社

ランチョンセミナー 3-4 11月27日(土) 12:30~13:20

D会場(2階 リハーサル室)

座長：廣岡 茂樹(済生会山形済生病院 副院長)

最近の循環器トピックス VTE 治療の今を考え未来を探る

—高齢者 腎機能低下症例 末梢型 DVT 症例を踏まえて—

高間 典明(群馬大学医学部附属病院 循環器内科 病院講師)

共催：バイエル薬品株式会社

モーニングセミナー 1 11月27日(土) 7:55~8:45

A会場(1階 テルサホール)

座長：岡田 晋吾(北美原クリニック)

在宅ケアと看取りから学んだ 人生100年時代の健幸学

中村 伸一(おおい町国民健康保険名田庄診療所 所長)

共催：ミヤリサン製薬株式会社

モーニングセミナー 2 11月27日(土) 7:55~8:45

C会場(3階 アプローチB)

座長：菅原 重生(日本海総合病院 循環器内科 副院長)

山形県における心不全医療連携 現在そして未来

渡辺 昌文(山形大学医学部 内科学第一講座 教授)

共催：小野薬品工業株式会社

2021年度 日本クリニカルパス学会優秀英語論文賞 受賞者

今年度の「優秀英語論文賞」は、以下の方に決定いたしました。

[Experience Report]

[A functional learning health system in Japan: Experience with processes and information infrastructure toward continuous health improvement]

Learn Health Sys 2020;e10252

済生会熊本病院 医療情報調査分析研究所 副島 秀久

日本クリニカルパス学会
学術・出版委員会